

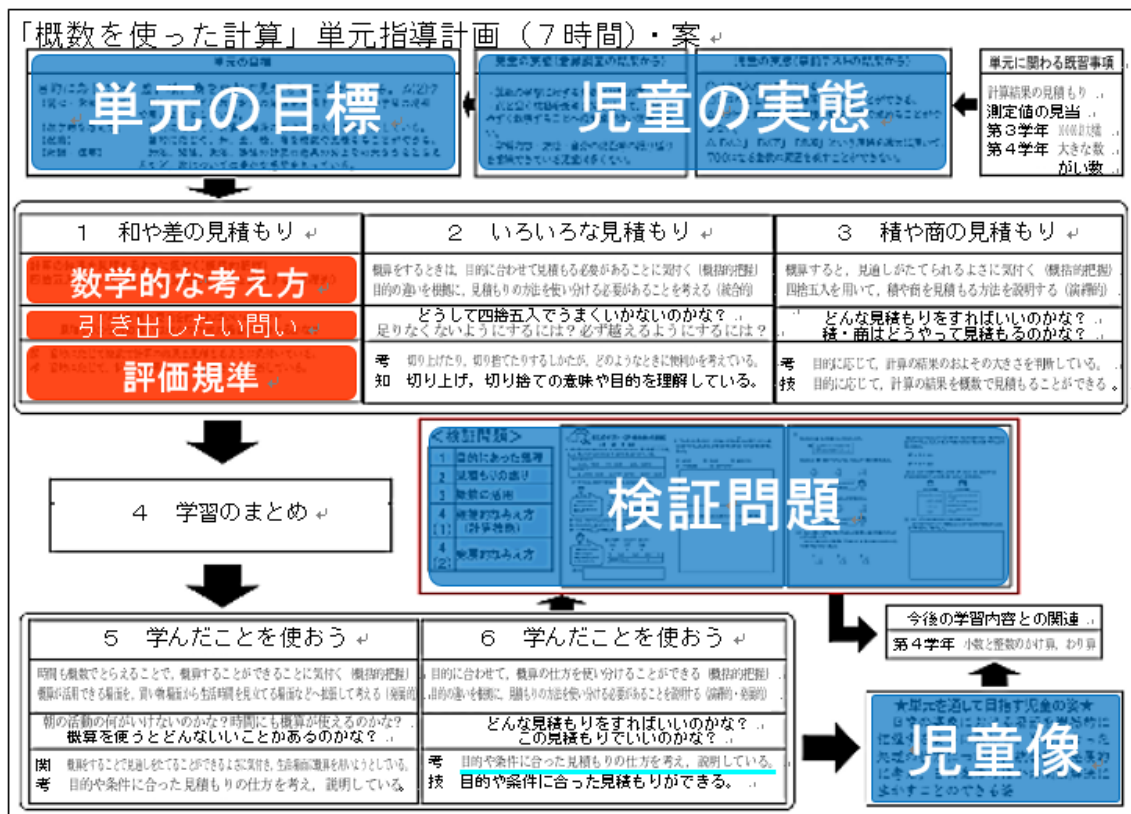
新たな問いを引き出す工夫

単元を通して「身に付けさせたい力」を明確にする

この単元、この授業で身に付けさせたい力は何か。

この課題に対して、子供たちはどんな「問い」をもつのだろうか。

教師がこれらを明確に意識することで、学習活動や支援の在り方もおのずと変わってくるはずです。「身に付けさせたい力」を明確にしなが、単元構想をデザインした実践です。



この単元で求める児童の姿（身に付けさせたい数学的な考え方）を想定し、検証問題を位置付けています。その後、児童の実態や単元の目標を踏まえながら、1単位時間ごとの学習内容を構想しました。



単元を通して目指す児童の姿を明確にすることで、1単位時間の中で何を身に付けさせるのか、そのためにどんな学習活動が必要なのかを、計画的に設定することができます。

アクティブ・ラーニングの視点による授業改善のポイント

「身に付けさせたい力」を明確にすると、引き出したい「問い」が見えてきます。この想定される「問い」に基づいて学習活動を考えていくことが、子供たちの主体的な学びにつながります。